

第2号様式の3

平成24年度第2回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	平成24年10月31日(水) 法務省大臣官房施設課入札室	
委員	角田 茂 (大学参事) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 秋山 哲一 (大学教授)	
審議対象期間	平成24年4月1日から平成24年7月31日まで	
【工事】		(備考)
抽出対象案件	総件数 1 件	
類 高度技術提案型	－ 件	
型 標準 I 型	－ 件	
標準 II 型	－ 件	
簡易型 (一般タイプ)	1 件	
簡易型 (施工実績タイプ)	－ 件	
【業務】		(備考)
抽出対象案件	総件数 ー 件	
類 標準型	ー 件	
型 簡易型	ー 件	
委員からの意見 ・質問, それに 対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	具申又は勧告	回 答
	なし	なし

別紙

意見・質問	回答
<p>(議題) 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>年度後半に集中的に発注する予定になっているが、今後発注時期の平準化はできないのか。</p> <p>1月下旬発注予定の工事はほとんど国庫債務負担行為での工事なのか。</p>	<p>できれば平準化したいと考えていますが、評価や審査を短期間で集中してやらざるを得ない結果になっています。</p> <p>設計を含めた国庫債務負担行為での工事ということもあり、結果的に年度の後半に工事の発注が集中してしまいましたが、平準化を図るのは今後の課題だと考えています。</p> <p>設計期間を考慮すると年度の後半に工事を発注することになってしまっています。現在は、設計業務を先に完了し、翌年度に工事を発注するという方式に変えつつありますので、来年度以降は、工事の発注時期の平準化も可能になると考えています。</p> <p>そのとおりです。</p>
<p>(議題) 抽出案件の審議</p> <p>[宮城刑務所作業倉庫棟等新営工事(簡易型(一般タイプ))]</p> <p>入札参加者2者のうちの1者が入札2回目で辞退した理由は推測できるのか。</p>	<p>今回辞退した者は、昨年度も入札に参加しましたが、価格が折り合わず不調となっています。今年度は、被災地域における労務単価の引き上げが行われたことに伴い予定価格を見直しましたが、やはり価格が折り合わず辞退したと考えられます。</p>

意見・質問	回答
<p>昨年度、入札不調となった経緯はどのようなものか。不落随意契約には至らなかったのか。</p> <p>今後の入札では不落随意契約を行うということか。</p> <p>1 回目の入札が不調だったという結果はどのように公表されるのか。他の入札参加者の入札金額はわかるのか。</p> <p>どの会社がいくらで入札したのか伝えるのか。</p> <p>1 回目の最低入札金額がわかると、2 回目はその金額より下の額で入札をしなければならぬということになるが、それが無理だと判断して辞退するということか。</p>	<p>昨年度は 1 者が入札に参加し、2 回目に辞退しました。なお、不落随意契約については入札説明書に記載していませんでしたので行うことができません。今年度は不落随意契約を行うものとして入札説明書に記載していたので、不落随意契約を行いました。</p> <p>原則として不落随意契約は行わないこととしています。今回のように、早急に契約が必要な工事については不落随意契約を行うものとして入札説明書に記載しますが、原則としては 2 回入札を行って落札に至らなければ終了します。</p> <p>入札金額が予定価格に達しなかったことを伝えるために、1 回目の入札金額を全ての参加者に伝えます。</p> <p>会社名は伝えません。郵送入札を認めている場合、2 回目の入札まで時間があるので談合等の恐れを考慮して入札金額のみを伝えます。法務省での入札であれば、会社名と金額を読み上げることとなりますが、2 回目の入札を即執行するので談合等の恐れはありません。</p> <p>そのように推測されます。</p>

意見・質問	回答
<p>技術点での競争の可能性が残っていても、価格に大差があると、落札するのは無理だと判断して辞退するということか。</p> <p>実質的には価格競争となっているようだが、1回目の入札金額は国土交通省等でも他の入札参加者に知らせているのか。</p> <p>辞退した者の評価点は計算しないのか。</p> <p>1回目の入札結果を知らせる際、評価点は教えないのか。</p>	<p>最低入札金額を知らせないと2回目の入札が成り立たないので、最低入札金額は伝えることとなります。例えば電子入札であったとしても、最低入札金額はわかります。</p> <p>入札回数が無制限であれば金額を知らせないという選択肢もあるかもしれませんが、2回という制限があるので、やはり伝えざるを得ません。</p> <p>計算しません。予定価格を下回った者の評価点のみ計算します。</p> <p>評価点は教えません。しかし、入札説明書の総合評価の方法を確認すれば評価点をある程度推測することは可能です。</p>